

特32
870

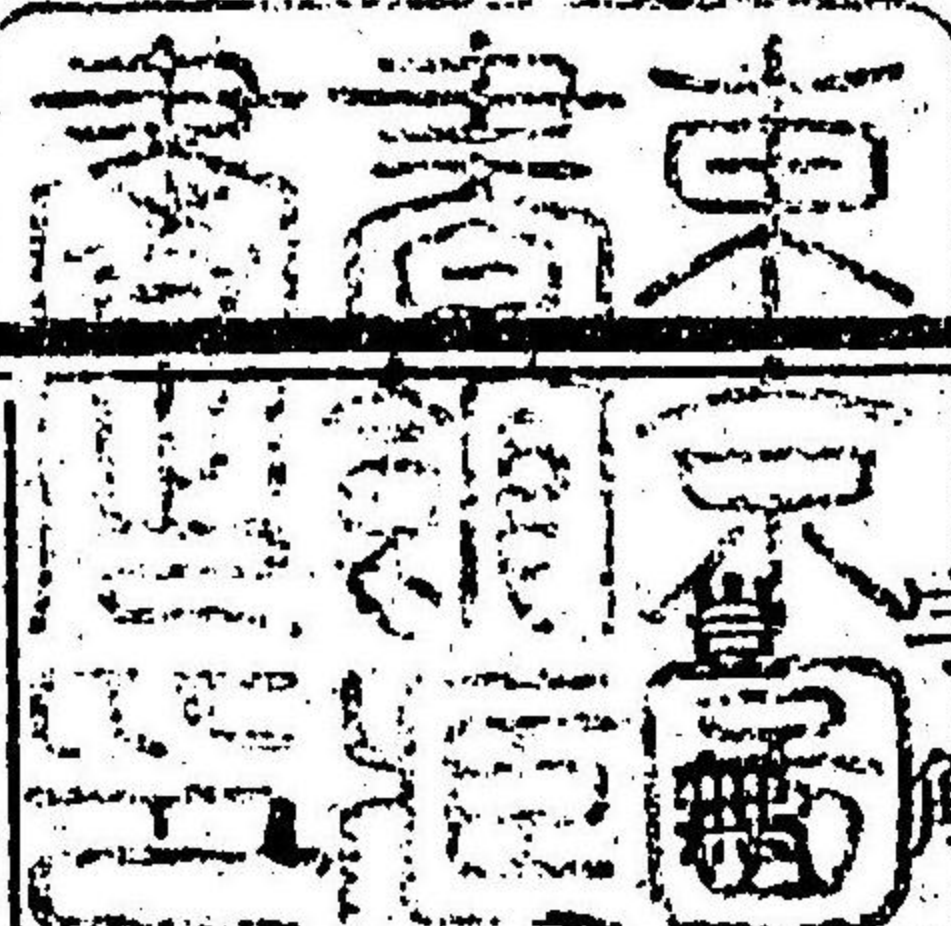
叔

內田氏所著地學教授本行于世久矣而
至其天文地理邦制物產等之立願與訓
誥童蒙往々皆其解釋矣此書詳其訓誥
探其立願纖悉不漏題而曰地學教授本
字解童蒙之徒藉以爲登其堂之階梯則
豈無小補邪明治十四年四月第四金曜

南海漁夫識

西
昇
林
地
學
本
行
世
久
矣
而
至
其
天
文
地
理
邦
制
物
產
等
之
立
願
與
訓
誥
童
蒙
往
々
皆
其
解
釋
矣
此
書
詳
其
訓
誥
探
其
立
願
纖
悉
不
漏
題
而
曰
地
學
教
授
本
字
解
童
蒙
之
徒
藉
以
爲
登
其
堂
之
階
梯
則
豈
無
小
補
邪
明
治
十
四
年
四
月
第
四
金
曜

特32
878



叔

內田氏所著地學教授本行于世久矣而
至其天文地理邦制物產等之玄頤與訓
話童蒙往々皆其解釋矣此書詳其訓話
探其玄頤纘悉不漏題而曰地學教授本

字解童蒙之徒籍以為登其堂之階梯則

補邪明治十四年四月第四金曜

南海漁夫識

凡例

- 一 每葉ノ紙端ニ卷ノ一或ハ卷ノ二ト記セシハ本文
- 〔地學教授〕ノ卷數ヲ指スモノニシテ其搜索ニ便
- ナラシメシカ爲ナリ
- 一 篇中細註ニ下ノ四十枚或ハ四卷ノ八葉ヲ參考ス
- ヘシ云々トアルハ本文〔原書地學教〕ノ卷數或ハ
- 丁數ヲ指スナリ
- 一 同熟字ニ前後兩處ニ記載シアルモノハ其一ケ
- 所ニ註解ヲ下シ余ハ略スルヲ以テ各其條下ニ就
- テ參考スヘシ

地學教授本字解

- 緒言 緒ハ散文ニ ○ 訂正 ハカリ、 ○ 簡約 簡易、
- 糸端也
- 緒數 カカミ、 ○ 纂輯 アツムル ○ 沿濬 沿瀬會ニ
- カズ
- 全豹 ナ覽ハシムルニ難シ ノコラズチ、知ルコノ ○ 新刊
- シ
- 張寄甫曰刊ニ其字外之余木ニ而後字成レ故ニ刻ニ字謂ニ之刊ニ猶ニ選ニ官ニ
- 而罷ニ之除也因ニ云刊判辭相似レトモ爰ニアルハ刊ナリ
- 從通 正韻ニ德 ○ 組語 抵觸 說文ニ齒不相值ニ曰組齒ニ揚子方言ニ
- スニ德通也 ○ 率例 率通韻ニ表的也、例ハ
- 國債 國ノ負債ニシテ即 ○ 率例 率通韻會ニ也、類也、
- 政府ノ借リナリ
- 單用 一ツツ、 ○ 梓 埤雅ニ梓ハ百木ノ長故ニ呼梓爲ニ木
- 用ニル ○ 梓 王左傳ニ謂録ニ又書於梓曰梓

○ 賦第^キメキハ 風土^{土地}、風俗^{土地} ○ 虛誕^{ウツ}ウツ ○ 長脚^{大人國}大人國

古俗傳へ云フ海外ニハ脚ノ非常ニ長キ人ノ住スル國、或ハ大人國「コビト」島等ノ國アリト是之ヲ云フナリ

○ 實^シ歷^キ實地ノ經 ○ 先^シ輩^イマレシ人 ○ 蒙^シ味^ハハツキリシ

ナ ○ 固^コ陋^ロモカクナ、○ 頑^コ固^コ、○ 會^エ得^トフツ、○ 丘^キ陵^リノ

樹木ナク其高二ロ丈ナルヲ丘ト云ヒ ○ 濼^ソ布^フタキ、濼^ソハ濼^ソ陵^リハ丘^キニ少シク大ナルヲ云フ ○ 濼^ソ布^フタキ、濼^ソハ濼^ソ故^コニ濼^ソ布^フト云フ ○ 濼^ソ々^々濼^ソ漫^{マン}ト同シ、○ 海^{カイ}倉^{サウ}ナリ

○ 島^{シマ}嶼^ウ廣^{コウ}韻^{オン}海^{カイ}中^{チュウ}湖^コ ○ 六^{ロク}書^{ショ}故^コ平^{ヘイ}地^チ ○ 濼^ソ漫^{マン}濼^ソハ水^{スイ}ノ大水也ト正 ○ 潮^{ウシ}水^{スイ}ミヅ ○ 碇^イ泊^{ハク}場^{バヤ}碇^イハ「イカリ」也碇^イ韻^{オン}ニ見ユ ○ 航^{カウ}海^{カイ}航^{カウ}ハ「ワタル」 ○ 邑^イ閭^ニ都^ト邑^イ邑^イ周^{シュ}禮^{レイ}ニ四^シ井^{ヘイ}ヲ

云フ ○ 航^{カウ}海^{カイ}航^{カウ}ハ「ワタル」 ○ 邑^イ閭^ニ都^ト邑^イ邑^イ周^{シュ}禮^{レイ}ニ四^シ井^{ヘイ}ヲ

註ニ凡^ソ邑^イ先^{セン}君^{クニ}ノ廟^{ミヤウ}有^{アル}レハ之^ノ都^トト云ヒ無^クナ^リ邑^イ ○ 内^{ナイ}則^{ソク}ノ註ト云フ云々都^ト邑^イトハ大^{ダイ}ナル村^{ムラ}落^{ラク}ヲ云フナリ ○ 内^{ナイ}則^{ソク}ノ註ニ二十五^ニ家^カヲ閭^ニトナス後^{ノチ}漢^{カン}書^{ショ}ノ註ニ閭^ニハ里^リ門^{メン}也^ト、ユリテ知ルニ二十五^ニ家^カヲ里^リト云ヒ里^リ門^{メン}ヲ閭^ニト云フニユリテ遂^ニ閭^ニト里^リト相通^{スル}スル ○ 田^{テン}舍^{シャ}ニ田^{テン}居^キノ中^{チュウ}ナラントイヘリ ○ 京^{キョウ}城^{シヤウ}國^{クニ}ニ至^{スル}ル

ノ居^キ玉^{ギョク}フ處^{トコロ}祭^{サイ}豔^{エン}獨^{ドク}斷^{タン}ニ天子^{テンシ}所^{シヨ}居^キ日^{ニッ}京^{キョウ}師^シ大^{ダイ}也^ト師^シ衆^{シュウ}也^ト ○ 即^{ソク}主^{シュ}府^フナリ 公^{コウ}羊^{ヤウ}傳^{デン}天子^{テンシ}之^ノ居^キ必^ズ以^テ京^{キョウ}大^{ダイ}之^ノ儀^ギ言^フ之^ト

○ 質^{シツ}粗^ソ質^{シツ}ハ「ガザリ」 ○ 需^{シュ}用^{ヨウ}人^{ニン}ノモ ○ 夷^イ狄^{テキ}ニビス ○ 支^シ那^ナ東^{トウ}ノ邊^{ヘン}部^ブニ住^スムモノナ東^{トウ}夷^イト云ヒ北^{ホク}邊^{ヘン}ニ住^スムモノナ北^{ホク}狄^{テキ}ト云フニヨリ開^クケザル人^{ニン}民^{ミン}ヲ夷^イ狄^{テキ}ト云フナリ

○ 天^{テン}地^チノ惠^{メイ}ヲ活^{カツ}用^{ヨウ}スル能^ノハス 農^{ノウ}業^{ギョウ}ト牧^{ボク}畜^{コク}トニヨリテ食^シヲ得^{トク}金^{キン}石^{シツ}木^{ボク}材^{サイ}ヲ以^テテ家^カ屋^ウヲ造^{ツク}リ綿^{ワタ}布^フ絹^{クニ}布^フヲ以^テテ衣^イ服^{フク}ヲ製^{セイ}スルハ即^{ソク}天^{テン}地^チノ惠^{メイ}ヲ活^{カツ}用^{ヨウ}スルモノト云フベシ、今^{イマ}野^ノ蠻^{マン}人^{ニン}ハ之^ノ資^シ用^{ヨウ}スルヲ能^クハス宜^イナリ天^{テン}地^チノ惠^{メイ}ヲ活^{カツ}用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

用^{ヨウ}スル能^ノハス ○ 燕^{エン}麥^{マク}我^ガ國^{クニ}ノ小^コ麥^{マク}トハ小^コシク

味モ多シク多シハ ○芋蔗 即馬鈴薯ナリ ○收蓄 獸類ヲ養フ

○魚介 介ハ貝類及甲ノア ○煉火石 或ハ煉瓦石トモ書ス

タルモノナリ ○蝦體 カダ ○紡績 糸ヲツ ○線 緑リ

○十枚 人身ノ温度云々 凡ヘテ人身ノ熱ハ九十六度ヲ以

テ表レハ其熱ヲ人身ニ與ヘテ彼是平均セントス故ニ身體熱

氣ヲ覺ユ是ヲ以テ冬ハ毛布ヲ衣テ身體ノ熱ヲ保持 ○亞鉛

即「ア、エ、ン」ニシテ元素ナリ ○石類 石灰、大理石、花

石灰、「アルカリ」 ○鹽類 吾人ノ用ケル食 ○海鹽 鹽

食物ノ消化ニ肝要ノモノナリ ○石灰 石灰ノ元質ハ植物

其成分ハ鹽酸ト那篤留母ナリ ○石炭 石炭ノ元質ハ植物

リタルモノ、炭化セシモノナリ植物ハ炭質ヲ原トシ其他若

千種ノ有機体ヲ以テ成ルルニ其植物久シク土中ニアル

ヲ以テ體質腐敗シ有機体ハ離散シテ炭質ノニ沈澱ス而シ

テ歲月ヲ經ルニ從ヒ漸々増加シテ厚層ヲナシ上層土石ノ

壓縮ニヨリテ固體ト ○彈力 グラハ湯ノ沸クキ土瓶ノ蓋

ナル是ヲ石炭トス ○神妙 不思議 ○迅速 迅ハ疾也、ハ

其力ナリ ○鐵ヲ燒キテ、カ ○精力 バイラー ○周歲 一年ヲ

ククスルナリ ○春夏 秋冬 我國ニテ大陽盛ク以テ分ツトハ十二、

六、七、八月ヲ夏トシ 一、二月ヲ冬トシ三、四、五月ヲ春トシ

九、十、十一月ヲ秋トス ○漸ク 晝ノ延ルニ從ヒ 漸々大陽

達スルニヨリ日ノ ○風和ギテ肌ヲ侵サズ 風ノ暖ナル

シテ寒烈ナ ○滋雨ノ恵ニ 禮記ノ檀弓ニ必有草木之滋

物生而後有衆 ○長閑ノドカ和訓彙ニハ和氣 ○驟雨シツヤニハカ

衆而後有衆 ○蒼々ソラソラキフチ ○荷葉カヤハスノハス ○翠綠スイリョクシタル景 ○歸雁

ノ別チ告ツケクルハ雁ハ我日本ナトニテハ秋時ニ來リ春時

ノユヘ夏時ハ南極寒冷ノ地方ニ棲ミ冬ハ北方我北海道ノ如キ地ニ棲ムモノナレバナリ ○夏ハ日永シ

夏日ハ天陽天頂ヲ通過スルニヨルナリ委キ ○露結ツクンテ

ハ末ノ地体ノトチ論スル條下チ見ルベシ ○霜染シメメテ木

草ノ葉ニ珠ヲ置キ云々 下ノ四十枚ヲ 參考スヘシ ○霜染メテ木

末ニ錦ニチ翻シ 霜ノ降ル頃ロコナレハ草木ノ葉黃 ○秋

ニ月影朗カナル故ハ 夏季ヨリ秋時ニ至レハ水蒸氣ノ昇

ナル故 ○霰セシアラ ○松マツ ○派ハテ ○生成ノ力 造化ノ

生出シ成長セ ○景物キケシ ○一葉一枯 一ドハ盛シニ、

フチ云 ○循環クワシメグルリ、○三十四葉ノ四季變交ノ理ハ二卷

シテ推知 ○二月ノニ廿八日 地球ノ太陽ヲ周回スル軌

道ハ、始終太陽ト同距離ニ

又遠カル時アリ、其最近ツシハ、冬ニシテ、夏ニ比スレハ凡

ソ三百萬里（英里）ニシテ我十四町余チ一里トス一トス、是ニ

於テ其引力モ自ツト強大トナリ、從フテ其公轉モ夏日ノ公

轉ヨリ速カナリ、故ニ冬月ノ中央ナリ ○迅速シ速ハオソキフ、

○零碎シ零ハ説文ニ細破也 ○瀟瀟シアガル ○四周シ割

リテ三十二方向 四方ヲ割テ八方トシ八方ヲ割リテ十六

カ加 ○八方ノ稱呼 東北ノ方角チ艮（丑寅）トシ正東チ卯

トシ東南ノ方角チ巽（辰巳）トシ正南

チ午トシ南西ノ方角ヲ坤(未申)トシ正
西ヲ酉トシ西北ノ方角ヲ乾(戌亥)トス

○權衡 權衡ハ、ハ
カカリノ、ホ
モリ即 ○道程 ノリ ○基礎 基礎、或ハ、
切要 肝要

村落 博雅落ハ居也綱目集覽ニ人所ニ
聚居故謂ニ之村落屯落聚落ナリ ○鹿署 鹿ハ粗

○基形 第一圖ノ方錐体ノ如シ上ニ見ルルハ其
方錐体ノ基底ノ形、即四角ノミヲ畫クナリ ○峰 峰

山ノ形細長クシテ尖リタル峰ト云 ○脈 脈、スヂツ
ヒ其圓クシテ尖ラサルヲ樹ト云フ ○脈 脈、スヂツ

置フニ同シ云 ○著實 カシニ明也 ○街衢 街ハ通り
ケタル町ヲ

云ヒ獨ハ町ノ四通五 ○濃褐色 ○橋梁 梁ハ説文ニ
達ニ分レタルヲ云フ ○橋梁 水橋也

○虚線 虚線ヲ云フ ○區劃 區劃、シキ
ハ其形「パス」

ナキモノ、加シ ○沙覽 沙覽、クザツト彼是ニ日
○近郊 近郊

チカキ野 ○三府 東京、西京、
原ナリ 大坂 ○本所 深川、下谷、淺草

青山 赤坂 ○主眼 主眼、オモダ
○驛路 宿場ノ

○華盛頓 亞米利加合 ○國面 國ハ果物ヲ種シル處ヲ云
衆國ノ首府 國面ハ禽獸ヲ蓄フ處ヲ云

フ初學記ニ有シ ○辰ト同シク 上圖即第五圖
日國有圖曰面 ○道程

ノ町 道程ノ町ハ六十 ○四行ノ 同距離ニ劃キ
間テ一町トス

云々 第七圖 戊ノ(ハ)線ノ距離ト(ホ)線ト同距離
ニヒシナリ而シテ(ハ)ヨリ(ユ)迄ノ七線ノ長サヲ

加ヘ、七ニテ除スレハ七線 ○測量 算學ノ一術ニシテ土地
ノ平均長サヲ得ルナリ ○測量 高低ナドヲ量ル術ナ

リ ○模寫 模寫、似セテシ
イハ丙ノ 誤リ歟 ○圓周 圓周、環ノ

云フ ○概モ二ツノ半径ノ中點ニ交切スル云々

即第三圖ノ(丙)(乙)ノ二ツノ半徑
ノ(甲)ノ中點ニ交切スルヲ云フ ○象眼儀 圓周ノ角
ニシテ圓形ヲ二分シ之ヲ百 ○繁殖 オヒクツニ

八十度ニ區劃セシモノナリ ○漸ク集リテ雲ト
一パイニ ○參差 或ハ高ク或ハ下

ナリ云々 水蒸氣少シク寒冷ニ逢フハ雲トナリ ○三十八
後又一層ノ冷氣ニ逢フテ雨トナルナリ

其壓力地上ノ二分一云々 空氣稀薄ナル故其 ○人類
壓力モ自ツト弱シ

ノ生活スルニ適當セス 空氣ノ壓力ノ弱キハ空氣ノ薄
キカ故ナリ空氣稀薄ナレハ人

生必需ノ酸素從フテ少ナ ○微風 一時間ニ半里經 ○輕
キ故生活ニ適セサルナリ 過スルヲ云フ

風 一時間 ○大風 一時間 十二里 ○空隙 スキ
ニ二里

○細キ泡ヲ出ス云々 氣ハ水ヨリ輕キヲ以テ泡 ○沖揚
ニナリテツキアガルナリ

○雨降ラス 空氣ナケレハ雨ノ降ヲザル理 ○物ノ音聞
ニス云々 音ノ聞エルハ其發音體ノ彈力、空氣ヲ震動シテ
以テ耳ニ達スルヲ以テナリ故ニ空氣ハ音ノ媒介

トナルモノ ○終歲風ノ同シ方向ニ吹ク云々 垣信風ノ
ト知ルベシ 加キチ云

フ卷ノ二 ○溼氣 俗ニ濕ト書クハ誤リニシテ濕ハ川ノ名ナ
ニ詳ナリ 溼ハ水氣ノアル處ヲ云フ爾雅ニ陂

ノ下者 ○干涸ガヒア ○空氣モ地ニ近キ處暖カ云々
日溼

空氣ハ地上ノ熱ノ反射ニヨリテ暖ナルナリ故ニ ○梅雨 此
地面ヲ離ル、高山ノ如キハ寒冷ナルノ理ナリ
節ハ寒冷ノ漸ク去リテ太陽ノ炎熱、稍加ハルニヨリ地面ノ
水氣蒸騰スルヲ逐日ニ多シ然ルニ地ノ熱ヲ受クル日猶淺
クシテ空氣ヲ暖ムルヲ未ク充分ノ上層ニ至ラス是ヲ以テ
地上若干部少シク濕熱ナリト雖蒸昇ノ水氣早ク冷氣ニ觸
レ忽チ凝集シテ降下ス是レ梅雨ノ候ハ霖雨アル所以ナリ
故ニ地面ノ熱充分ニ氣層ニ反射シテ之ヲ濕熱ナラシムル

ニ至レハ自ツ
ト止ムナリ

卷之二

○研^ミ窮^キミガキル ○平^ニ區^ニニ不^レ圓^也トアリ ○圓^ニ葉^ダマルキ、ク

○合^フ踏^ハ足^ノヒラナリ足^ノ ○倒^ニ置^ニニ、ナル ○深^シ

○引^カ力^ナ凡^ソ天^地間^ノ萬^物ニ引^カ力^ノナキモ、ハ

懸^リ地^球上^ノ諸^物ハ地^球ノ引^カ力^ニ頼^リテ地^上ニ存^在ス其

形^状ヲ成^ス ○圓^ニ面^ノ中^心 ○圓^球ヲ二^ツニ割^リ

○波^ニ激^シテナ^ミニ、○机^案ヨ^リ、カ^ハルモ

○屋^宇舎^也 ○司^天星^辰ノ運^行ヲ見^ル ○逆^ニ反^テト

○子^午線^ニ地球^ノ周^圓ヲ子^丑寅^ノ十二^支ニテ割^リ當^テ子^ヲ

○大^陽天^頂ニ達^スル^{コト}ナシ 大^陽ハ兩^回歸^線ノ間

ナル故^ニ赤^道ヨ^リ二十^三度^半即^チ回^歸線^外 ○南^北ニ進

退^スル^カ加^シ 赤^道ヨ^リ兩^回歸^線ノ方^ニ 〇春^分秋^分 下^ノ

見^ルベシ ○赤^道ノ近^傍ハ年^中晝^夜ノ長^短少^ナシ

十六^丁下^第二^圖ニヨ^リ考^フベシ 赤^道ハ冬^至線^ト夏^至線^ト

是^ヲ以^テ晝^夜ノ長^短ナシ 下^ノ十七^丁ヲ參^見スベシ

〇寒^帯ノ地^ハ冬^ハ大^陽地^上ニ現^ル、^{コト}無^シ 十六^丁

圖^ニ地球^甲ニ在^ルト乙^ニ在^ル所^ヲ見^テ知^ルヘシ 甲^ニ在^ル所^ハ

六度半ノ交角ヲナシテ自轉スル故太陽ニ面スルコトナシ是
レ南極ノ冬ナリ又乙ニアルキハ南極ハ太陽ニ面スルモ北
極ハ太陽ニ面セス是北極ノ冬ニシテ太陽ノ地
上ニ現ルコト無キ理ナリ尙下ノ十七丁ヲ見ルヘシ ○夏ハ大

陽ノ入ルコトナシ 是レハ前ト反對スルモノナリ第二圖地
球甲ニアルキハ北極ヲ夏トシ乙ニアル

キハ南極ヲ夏トスルナリ太陽ノ ○暗影カゲ ○晨昏文
入ルコトナキハ圖ヲ見テ知ルヘシ

ニ晨ハ○東ノ方九十度離レタル土地ハ氏日ニ
味爽也 シテ西ノ方八九十度ノ所ハ晨ナリ ○太陽ヲ見

ルコト高サハ緯度ニ從ヒ同シガラス 赤道ヨリ見レハ
高ク南北緯度ニ

コルコト縦ヲテ低シ下 ○第六十六度半ノ交角ヲ爲セ
十八丁ヲ見ルヘシ

リ故ニ其赤道又自ラ軌道ト二十三度半ノ交角云々
次ノ十六丁下第三圖正側面ヨリ見ル圖(イ)ハ地軸(ハ)ハ軌道
ニシテ即六十六度半ノ交角ヲナセルナリ又(六)ノ軌道ト(ロ)

ノ赤道トノ間ハ二十
三度半ノ交角ナリ ○地軸ノ位置軌道ノ内外ニ傾

カス 十六丁第二圖ヲ見テ其理ヲ知ルヘシ地球甲ニ在ルキ
ハ地軸ノ北方軌道内ニ傾キ丙ニアルキハ地軸ノ位置

軌道ノ内外ニ ○無第ナキマリ ○星宿ドリヤ ○地
傾クコトナシ

軸ノ方向正シクサス處 地球南北ノ地軸六十六度半ノ
傾キヲナス方向ニ天ノ兩極モ

傾ク ○地平線 何レノ地ヲ問ハス人ノ眼ニ平行スル線ヲ
ナリ 云フ故ニ土地ニ從フテ變スルナリ

○全ク 戊丁ト同シ 戊ノ符號第三圖ニナシト雖之ヲ推
スニ天球軸ノ北極ヲ戊ノ符號トス

ルナ ○即地平上、極ノ高ナリ 第三圖ニヨリ手近ク解ク
ルハ(丁)ノ地平線ヨリ

(北極)迄ノ高サ ○北極出地幾度 出地トハ地平線ヨリ出
ト云フコトナリ ○天球凡ヘテノ星 ○正午ノ高
平線ヨリ北極ヘ出ツ 辰ヲ云フ

度(辰)ニ於ル(未)ニ於ル固ヨリ之ヲ仰クノ高下ア

リ大陽(辰)ニアルハ夏至線ニ達スルモノニシテ(未)ニア

ルハ赤道ニ來ルルヲ云フナリ第三圖ノ地平線ニテ見ル

トハ(辰)ニアルルハ高ク見ヘ

(未)ニアルルハ低ク見ユルナリ

○亞太臘海 ○疆域

サカ ○鹹水ナリ 内地ニ鹹水ノアルハ鹽硫チ地中ニ含ム

ヒ ○鹹水ナリ カ或ハ石鹽等ノアル地方ヨリ流レ來ル

水アルニ ○噴火山ノ近傍ハ概地震多シ 地震ハ固ト

ヨルナリ

アリテ其出ル處ナキテ以テ起ルモノナリ故ニ噴火山ノア

ル地ナレハ其地中火氣ノ盛ナルヲ推シテ知ルベシ是レ噴

火山ノ近傍ハ地 ○恒信風 恒信風ヲ生スル理ハ赤道ノ下ハ

震多キ所以ナリ 大陽ノ溫熱外部ヨリハ甚シキ

チ以テ其處ニ在ル空氣膨脹シテ上昇ス依リテ南北ノ空氣

其跡ヲ填ルカ爲ニ赤道ニ赴ク是レ南風北風ヲ生スル所以

ナリ然レ地球ハ非常ノ速力ヲ以テ不斷東ヨリ西ヘ回轉

スルカ故ニ其方向正シク南北ノ風ヲササス少シク東ノ方

位ヨリ來リテ東南風或 ○無風帶 南北ノ風力平均スルニ

ハ東北風チナスナリ

○雨風ノ出會スル所ハ赤道ヨリ稍北ニ在リテ云々

雨風ノ出會フ處即無風帶ノ北ニ偏スルハ北半球ハ陸地多

キチ以テ其熱度南半球ニ比スレハ強ク從テ空氣モ稀薄

トナルカ故ニ南風ノ北緯ニ侵入シ ○乾燥ヒテ ○霖雨

テ赤道ヨリ北方ヘ偏スル所以ナリ

雨三日ニスグル ○颶風 颶風ト混スルヲナカレ颶ハ具ナ

チ霖雨ト云フ

ヒ風 ○潮流 潮ノ満干ニカ、ハラス ○濕瀉ト大モ ○淵

ナリ

零シホミ ○家虎ニ似タリ其色ニ ○熊 高凡三尺長サ凡

チツツ

白赤ノ二種アリ

○熊 高凡三尺長サ凡

ノ二種アリ深山 ○熊 其形熊ノ如クシテ大ナリ長サ七尺

ニ樓ム猛獸ナリ

高サ四尺力強大ニシテ時々牛馬チ

兩手ニ抱キ深山 ○豺狼 其形犬ノ如ク深山 ○柳樹 熱

ニ持行クヲアリ

ニ樓ム猛獸ナリ

○柳樹 熱

ニ産スル木ニシテ其形我國ノ棕櫚ノ如シ大ナル實ヲ生ス
其實ハ食料ニ供シ或ハ之ヨリ油ヲ取リ之ヲ椰子油ト稱ス

○ 檳榔 ビロウ 枝ナキ樹ニシテ幹ニ節アリ我國ノ桂枝ニ似タリ皮
ハ青桐ノ如ク葉ハ芭蕉ノ如シ幹ノ頂ニ實ヲ生ス其實

ハ葡萄ノ如ク房ヲ ○ 芭蕉 バウ 其形ハ我國ノモノニ異ナラス
ナシ葉中ヨリ出ツ ○ 芭蕉 バウ 實アリ食料ニ供ス味甘美ナリ

○ 河馬 カバ 犀、象、駱駝、駝鳥、之類 カバ 初丁ノ圖ヲ ○ 卷仲

マキ、ノバ ○ 肉瘤 ニク コブノ如ク高ク ○ 家畜 カキ ハカク養フ意
シスルヲ ○ 山ナルヲ云フ ○ 家畜 カキ ハカク養フ意

ナレハハカクノ獸ノ物名ト ○ 駿馬 ウマ ヨク走ル ○ 音呼 オン 又鸚哥
ナルキハカク

ス羽色光澤鮮明ニシテ能ク人 ○ 鸚鵡 カウ 熱帯ニ産ス其大サ
深ク摸擬ス亞米利加洲ニ産ス ○ 鸚鵡 カウ 鳥位ニシテ其色多

クハ白シ能ク ○ 孔雀 カウ 甚ク美麗ナル鳥ニシテ頭ハ青色ニ金
人語ヲ似ス ○ 孔雀 カウ 色ヲ點シ尾ハ大ニシテ之ヲ伸張スレ

ハ恰モ金羽ノ國 ○ 堅牢ノ鱗甲 ウロコ カタキ、 ○ 利器 カキ ヨクキ
屬ヲ屬スカ加シ

ノモ ○ 徹ヒ ○ 薜荔 クワ 荊棘 カキ 多産之而名也 ○ 荆 カキ 脫文ニ楚木也楚之地因ニ

○ 雪白 ユキ ヲキノ如ク ○ 海獅 ウシ 水陸兩生ノモノニシテ其長八
ニ似 ○ 海獅 ウシ 或ハ「ラッコ」トモ云フ身長三尺許ニシテ毛色

造 海狗 ウシ 北海ニ棲ム獸ナリ其形海馬ニ似テ小ナリ其游泳
スルハ鼻口及耳ハ自ラ閉塞シ前足ヲ用ヰス後

足ノミヲ使用シ全 ○ ペンシ ペン 「ウエブストル」字書ニ據ル
身ヲ見ハス「ナシ」ニ北極ニ棲ム鳥類ニシテ

其形「アヒル」ノ如ク只其羽翼ノ ○ 羽毛 ウマ 水獸 ウマ 獸類ニシ
魚ノ「ヒレ」ノ如キヲ異ナリトス

棲ムモノニシテ例之 ○ 快鹿 カキ 初丁ノ圖ヲ ○ 懸隔 カキ カケヘ
ハ「ラッコ」ノ如シ

違ス ○ 肌膚 ウマ ハダ ○ 黄土色 ウマ キイナ ○ 卵白色 ウマ タマ
ル「ラッコ」ノ如シ

如キシ ○ 眼睛 ウマ 碧色 ウマ シトミノア ○ 骨格 ウマ ホミ ○ 茅廬 ウマ
ロイロ

イカヤノ ○ 髓骨ノカシラ ○ 口吻ビロナ ○ 頤骨ホウボ子

○ 髭シニアルヒゲ、口ノ上 ○ 大綱オ、ツナト云フニテ、人種ノオ、別ケチ云フ

○ 錯雜マシ ○ 酋長シロラカシ ○ 水草ヲ逐フテ轉居ス

收畜チ業トスルモノハ水ト草ト最要トス是ヲ以テ其居所チ定メス水草ノアル處ヲ尋テ轉移スルチ云フ

○ 抄掠カスメ ○ 質朴カザリノナ ○ 嚴然シヤント云フ意

○ 輕蔑カロンシ、ナイ ○ 倫理ヘン偏重ヘンノ例ノ之ハ君臣ノ分夫婦ノ權ノナドノ甚ク隔絶

云フ ○ 虛飾ウハハベ、ノミ ○ 殘忍シムエキ ○ 文明文事

盛ニシテ義理ニ ○ 四民工商 ○ 五倫父子親、君臣、義、夫婦、別長幼、序朋

友、 ○ 法制オキ ○ 公議國中人民 ○ 大總督凡ヘテノ信

リ治ム ○ 總轄スベシ ○ 主裁ツカサドリ、 ○ 版圖天官

小宰ハ成ニ日聽ニ閭里ニ以ニ版圖ニ註ニ版ハ戶籍也也。又宮伯掌王宮

之士庶子凡在版者註版名籍也以版爲之今時鄉戶籍曰

版 ○ 賦役ワリツケ ○ 諸侯ヲ封シ大名ニ、トリ、

○ 主宰カシ ○ 公國、侯國左傅ニ所謂ル公、侯、伯、子、 ○ 萬

機ハ經緯ヲ以テ成ル、國ヲ治ムルハ恰モ經緯 ○ 門限史

功臣年表人臣功有五品明其等曰閭積曰閭正字通元

端置瓦筒一 ○ 諸省院使文部大藏等ハ省。元老院大審院等

○ 察司諸省中ノ小 ○ 內國日本テ云ヘ ○ 外國外務省

○ 會計大藏省 ○ 刑法司法省 ○ 宗教教部 ○ 學問文部 ○ 製

造工部 ○系統相傳一ノ血スデニテ ○參與アマツカリ

○暴君アシキ ○姦臣心ノアシ ○虚政ル民ヲ苦シメ

○世運ヨリメ ○名分ニ背カズノ職務ヲ能ク勉ムルヲ

名分ニ背カ ○掌握ニギル ○執行コノフ ○司律ノ權國

會議シテ、公平ノオキテヲ ○君意ヲ躰シテ 君ノ意ヲ本

立テ、之ヲ行フ、權ヲ云フ ○君意ヲ躰シテ 君ノ意ヲ本

○舍 ○國家多端アルニ兵事ナド、 ○證券我國ノ公債

○公權 オホヤケ、即各人、モチ ○押領ドリ ○家系スデ

○倫理 禮ノ樂記ニ樂者通倫理者也註理ハ分也、同書ニ天理

○蕙如 ナイガシ ○配合スハ ○才徳才智 ○轉賣處

ニテ買ヒ乙處ニ ○枚舉 義、學ハアグルナリ ○鞭撻

苛責 カリ、ツケル、 ○過嚴 スギル ○一朝ノ怒 ノ一時

○天草ノ騷擾 小西行長等ノ道臣天主教ヲ以テ庶民

益田四郎ナル者 ○人倫ノ五常 ○條理ミチ ○職牲牛羊

其巨魁タリ ○靈水 御符トモ 稱ス神佛

牲ト云ヒ色ノ純白ナルヲ儀ト云フ神前 ○靈水 御符トモ

ニ供スル牛羊豚ノ眞白ナルモノナリ ○寛急 充分ニス

ニ供ヘシ ○奥儀 アコシ ○生業 ハナリ ○寛急 充分ニス

トアリ ○總旨 大意ト云 ○歳額 年々ニ費ス處ト収ム ○略序

卷之三

ザツト、カヤナラヘル。序與叙同群談採餘ニ序ハ者次ニ序ツル其事ニテ始於詩書之有レ序。叙(爾雅釋詁)叙ハ緒也然則學ニ其綱要ニ

若爾之 ○要領 カンジン ○要ハ衣ノ腰ニテ、領ハ衣ノ領 抽レ絲也 ○要領 カンジン ナリ、凡ソ衣ヲ持ツモノハ、必ス

腰ト領トヲ持、ト ○參考 マジヘ、カ ○奇零 タハシ ○斗 云義ニ取ルナリ

出^レ長柄ノ付キタルモノヲ斗ト云フ墨斗、熨斗等ノ如シ故 出^レ地形柄ノツキ出テタル如キヲ斗出ト云フナリ

○方里人員 一方里内ニ人員幾 ○千八百六十八年ノ 内ヨリ本文ノ年數ヲ減スヘシ云々 千八百六十八年

ル故ニ本文ノ年數ヲ千八百六十八年ノ内ヨリ ○綿 巨綿 減シテ西洋紀元ヨリノ年代ヲ知ラル、也 ○綿 巨綿

連綿ト云ヒテ長ク連シク。巨ハ徧也 ○率 寒國 ○輓 竟也トアリテヒッバリウタス義ナリ

近^キ近^キ ○迦^カ詩ノ奏風ニ迦河從 ○疎^ス密^ミ 禮記玉藻 近^キ近^キ ○迦^カ詩ノ奏風ニ迦河從 ○疎^ス密^ミ ノ註ニ疎

之言^ル 鹿也 ○峨^カ々^カ 字典ニ峨々 ○沿岸線 海岸ニ沿ヒテ一周 鹿也 ○峨^カ々^カ 字典ニ峨々 ○沿岸線 海岸ニ沿ヒテ一周

○蘇^ソ江^カ郭^カ璞^カ江^カ賦^カ狀^カ滔^カ天^カ以^カ蘇^カ江^カ。蘇^カ正 藩^カ屬^カ國^カ 明治十 縣^カ治^カトナル ○中世以後 頼^カ朝^カ以來 ○割^カ據^カ 一方ノ地ヲ

有^ル ○豫算表 アラカシメ、マヘヨ ○彌^カ蔓^カ ワタリ、ハ ツ 計算セシ、カキツケ ○彌^カ蔓^カ ビコル

○雲^カ際^カ シモノキハ、タカ ○未^カ甲^カト云々 マダ、一パン キチ云フナリ ○未^カ甲^カト云々 マダ、一パン

○白^カ山^カ ○御^カ嶽^カ ○鳥^カ海^カ ○雲^カ隱^カ ○祖^カ母^カ ○茨^カ彦^カ 白山 ○御^カ嶽^カ ○鳥^カ海^カ ○雲^カ隱^カ ○祖^カ母^カ ○茨^カ彦^カ

○穴^カ道^カ湖^カ ○七^カ道^カ 東^カ海^カ東^カ山^カ道^カノ ○瀧^カ水^カ 經^カノ註^カ瀧^カ者 穴^カ道^カ湖^カ ○七^カ道^カ 東^カ海^カ東^カ山^カ道^カノ ○瀧^カ水^カ 經^カノ註^カ瀧^カ者

鄭^カ風^カニ風^カ雨^カ瀧^カ々^カ。瀧^カ音^カ酒^カ通^カ ○幽^カ邃^カ 深^カ遠^カ也、 鄭^カ風^カニ風^カ雨^カ瀧^カ々^カ。瀧^カ音^カ酒^カ通^カ ○幽^カ邃^カ 深^カ遠^カ也、

酒^カ作^カ詩^カ大^カ雅^カニ瀧^カ掃^カ庭^カ内^カ ○幽^カ邃^カ 深^カ遠^カ也、 酒^カ作^カ詩^カ大^カ雅^カニ瀧^カ掃^カ庭^カ内^カ ○幽^カ邃^カ 深^カ遠^カ也、

潮^カ廷^カハ參^カ ○鼎^カハ昔^カ支^カ那^カニ鼎^カヲ鑄^カテ之^カ天子^カノ寶^カトシ都 潮^カ廷^カハ參^カ ○鼎^カハ昔^カ支^カ那^カニ鼎^カヲ鑄^カテ之^カ天子^カノ寶^カトシ都

駕^カスルヲ ○鼎^カハ昔^カ支^カ那^カニ鼎^カヲ鑄^カテ之^カ天子^カノ寶^カトシ都 駕^カスルヲ ○鼎^カハ昔^カ支^カ那^カニ鼎^カヲ鑄^カテ之^カ天子^カノ寶^カトシ都

十三

地學叢書本卷之三

京ヲ移スト云フ ○ 摸倣モウカウナラフ ○ 官幣クワンヘイ毎年官ヨリ幣物ヲ供ヘ祭ル

社 ○ 壯麗クワシイオホキクシ ○ 古刹コシヤク伽藍カラン古刹ハ古キ寺ナリ

梵語ニシテ搭ナリ ○ 幕府バクフ將軍ノ居所 ○ 馮唐傳ホウトウ註三軍旅無常

也 ○ 殷富インフナリ ○ 曩時ナシ卷ノ四四十四枚ノ ○ 覇府ハフ

將軍 ○ 要樞エウシュナ場所 ○ 閑雅カンガ史記司馬相如シマカウ傳ホウ雍容間

隙也雅素也 ○ 薨ソウ左傳ノ註ニ ○ 官道クワンダウ公道ト云 ○ 鮭サケ

河海中ニ産ス其形鱈ニ似テ長ハ二尺ヨリ ○ 鱈魚タウイ形鱈タウ似テ

長サ七八寸眼大ニシテ赤ク全 ○ 鱈魚タウイ子ニシテ我

身蒼碧ニシテ鱗薄シ ○ 昆布コンブ海中岩上ニ着キテ生ス其色淡黄ニ

シテ味佳ナリ ○ 昆布コンブ兩邊ハ黒綠色ナリ其大ナルモノ

ハ幅一丈餘長サ十數丈ニ及 ○ 狸リ或ハ海獺トモ書ス身

易重要ノ ○ 黒狐コクコ形狀ハ尋常ニシテ只其毛

品ナリ ○ 黒狐コクコ色ノ黒キヲ異トスルノミ ○ 部落ブツシ

也、落ハ居也 ○ 窄袖サウソウナ左衽ニ着ケ 窄ハ正韻ニ狹也迫

マキ、ツ、ソデナ、 ○ 世祿セロク代々相繼 ○ 蛟曲キョウキョクマカリ ○ 潮

貢潮キョウ參シテ、方物 ○ 上布ジョウフ製シ藍ニテ染ム緋、縞等アリ

其藍ノ去ラサ ○ 紺木綿コンモクワタ紺染ノモメ ○ 顔面眉鬚カンメンシユマユ

フ鬚ハ口ノ下ノ毛ナリ ○ 占守シムシ ○ 大隊ダイタイ八小隊ト散

都台十小隊即四百八十人ヲ以テ大隊ト ○ 小隊コウタイ四十八人

ス ○ 輜重シユジュウ漢書ノ註ニ輜ハ衣車ヲ謂フ重ハ載重ヲ謂フ故

○餅シ車後ニ衣ス ○鐵甲船 船トハ大船ヲ云フナリ鐵甲
所謂ル庫車也云々

固ニセシ ○註ニ本秦ヨリ轉ス云々 此秦ハ始皇ノ秦
船ヲ云フ

秦ナ ○封地 領地ト云 ○蠶食 漸々ニ掠。蠶ノ桑葉ヲ食
リ

々ニ取ル ○恢 恢ハ大ナリ擴ハチ ○陝西 ○安徽
ヲ云フ

○簇立 ムラガ ○堡塞 堡。韻會ニ小城也。史記蘇秦ノ傳ニ秦
ヤ。四塞ノ固(註)ニ國之厄險ヲ曰レ塞ト

○莫大ノ土功 莊子逍遙遊篇ニ廣莫 ○内閣 天子ツキ。唐ノ
宣政ノ前殿也。謂フ之衝衛者

有。仗紫宸。便殿也。謂フ之閣ト ○顯要 顯達、要職 ○蒙古ノ
兵ヲ八旗ニ分チ

我國ノ卿 ○戶部 制度通ニ戶部ハ百姓 ○禮部 禮儀ヲ
ニ同シ 年貢等ノヲ掌ル

兵ヲ八旗ニ分チ 黃旗。鑲黃旗。藍旗。鑲藍旗。
紅旗。鑲紅旗。白旗。鑲白旗。 ○尙書

兵部 軍旅武官ノ 工部 宮室器用并ニ水 ○刑部 刑
進退ヲ掌ル

ノヲ掌ル ○吏部 人才ヲ進退スルヲ掌ル ○冗多 增韻ニ雜也、
掌ル吏ハ官吏ノヲ也

備員曰ニ ○禮文ヲ尙ヒ 禮式、 ○可シ 可酷 ○緊紫
冗官

カタク、○說文ニ緊ハ纏。紫、類篇ニ ○馬蹄 アシ、 ○搾
リ、ハル 糸急也 纏束也

○填テ ○黑茶 綠茶 製シ方ニヨリ黑 ○燕窠 或ハ燕窩
ニ作ル

語ニテ「スワリユツエチス」ト云フ人家ノ簷梁等ニ架スル燕
ノ巢ナリ藥品ニ供ス其功用ハ身体惡血ノ堅硬ヲ柔軟ニシ

及其凝結ヲ發散スルノ功アリ又發炮トシテ頤ナドニ貼シ
咽喉焮腫ヲ消散ス是レ燕鳥ノ屎ニ攪氣性アリテ凝血及粘

液ヲ發散セシムルナリ然レ今爰ニアル燕窠ハ支那人ノ
嗜好スル燕窠菜ナルベシ燕窠菜ハ大洋洲中波羅國 海岸

岩石ノ間ニ燕鳥ノ造リタル巢ニテ其物質ハ海藻即昆布ノ
加キモノナリ燕鳥ノ糞ニ來リテ巢ヲ作ス支那人之ヲ取

地學抄本卷之三

十五

リ酢ニ浸シテ食用トス其色ハ青色ニシテ白點
○塗抹
チナセリ其味ハ昆布ノ如ク淡ニシテ香アリ

ケル
○雜沓シキヲ云フ
○文雅致アルヲ云フ
○長

髮賊明ノ裔吐稷ヲ再興セントシテ兵ヲ起ス其兵、清ノ辨
髮ヲ避ケ髮ヲ長クス故ニ之ヲ長髮賊ト云フ

○鴉片ノ戰爭ニ支那人英人ノ所有鴉片ヲ海中
○偉觀

偉ハ説文ニ奇也増韻ニハ大也ト
○兵燹ハ説文ニ火也
アリ「メツラシキモノ」ト云フ意
○兵燹ハ説文ニ火也

ケルヲ
○鎖國ヲ事トシテ海岸ニ鎖チ張り國ヲ閉ナシメ
テ外國ト交際セザルヲ云フ

○禾穀禾ハ五穀ノ總稱ニシテ禾
○奕世ニ代々ト云フ意増韻
穀ハ穀類ト云フカ如シ

○人參其形ハ野菜人參ノ如シ其味ハ甘温
○野馬居野ニ
ニシテ少シ苦味ヲ帶ブ藥種トス

馬ニシテ人家ニ
○寒冽冽ハ極寒
○遊牧ノ野民家畜
蓄フニアラヌ

スルカ爲メ處々ノ水草ヲ
○戌兵ハ説文ニ守邊也爾
尋子テ住居スル民ナリ

戌守ノ所以
○祭然トシテ眼ヲ眩ス
○穴居リ其中ニ
止ル寇賊

住
○濕注ハ集韻ニ窪ト通ス深池也
○中數冬三ヶ月毎日
ス

取リ而シテ其九日間ノ度ヲ加ヘ九
○鼯鼠小サキ、子
十日ヲ以テ除スルモノ中數ト云フ

○雪車氷雪ノ上ヲ引ク車ニシ
○礦窟カナ穴
銀銅鉄

ノアラガチナリ。字書ニ金玉
○白金其質堅固ナルヲ以
未成器曰礦。密ハ集韻ニ燒穴

○其色白フ
○裘皮獸皮ヲ以テツ
○獺江河池泉ニ棲
ノ銀ノ如シ

○後印度歐羅巴ヨリ指斥シテ云
大ナル「イタチ」ノ如シ

ト云
○不膠卷ノ四希臘國産物ノ條下
○馴養シノヤ

○不膠卷ノ四希臘國産物ノ條下
○馴養シノヤ

○論策詩賦 論ハ倫也理ヲ。策 儀禮註ニ策ハ簡也通致漢制
取士作簡策難問一試者投

射答之謂之射策若錄ニ。詩 五言或ハ七言等アリ七言絕
政化得失顯問謂之對策。 句ハ二十八字ニシテ七言律

ハ五十六字トス皆 ○文物學問ヤ ○文身 身ニ入レ墨ヲ。
悉シ韻ヲ押ムナリ

賦 詩經序詩ニ有ニ六義ニ曰賦。陳賦之言鋪也直鋪ニ。○賦
陳今之政教善惡。班固兩都賦。厚賦者古詩之流

ス 附屬ス ○印度國ト云フニ同シ 斯坦ハ國ト云フ義温
都印度共ニ同シ故ニ

シカ ○侯伯 諸侯大名ト。諸侯ニ公、侯、伯、子、男、ノ五等ア
云フ如シ。ルニ據リテ大名ヲ侯伯ト云フ

リナ ○鴉片 「アヘン」ハ罌粟花ノ凋落シテ種子ヲ含有スル
「サヤ」ノ下部ヲ切裁シテ乳狀ノ液汁ヲ取リ其

水氣ヲ蒸散シテ製スルナリ其色褐色ニシテ苦味アリ之ヲ
小量ニ用ウレハ催眠ノ效アリ然レハ大量ニ用ウレハ大害

ヲナス支那人ハ常ニ煙草ニ混シテ之ヲ ○輕羅 ウスキ絹
吸ヒ或ハ純阿片ヲ煮シテ之ヲ練クナリ

國ノ紗ノ如 ○藍靛 卷ノ六卅二葉ノ青黛 ○酖醉 昏耗
キモノナリ

鴉片ニフケリ醉フテ、精神 ○操練 兵ヲ、子リト、 ○因
ヲ昏迷シ、身体ヲ耗亡ス、

果冥福 善因ニヨリテ善果ヲ得ト云ヒ、善事ヲ行 ○轢カ
レテ ○矮屋 キイヘシ

○靈場 靈奇ナル釋 ○僻境 僻ニシテ ○嗟峨 山ノタカヒ
迦ノ居趾

○說文ニ「山石貌廣韻ニ參峨ハ ○遊潤 遊ハ遠也 ○雪際
山不齊貌通多作參差」

緯度ニヨリ高低アリ其容表ヲ舉クレハ左ノ如シ
然レハ此處ニテハ只高キヲト見テモシ

1600 里
1400 里
1200 里
1000 里
800 里
600 里
400 里
200 里
100 里
平地

赤道 十度 廿度 卅度 四十度 五十度 六十度 七十度 八十度 九十度

地學叢書本卷之三

十七

○ 剿絶ハ盡也ツクシ ○ 豐饒ナルカ ○ 隊商隊伍ヲ

遠地へ往來シ商賣チナス其多ク伍チ ○ 巨万ハ大ナリ或

ナスハ蓋盜賊ヲ恐ルカ故ナルベシ ○ 如シ ○ 可酷キナルニト酷ハキビシキ

○ 暴戾暴ハアラキナリ ○ 低窪低ハヒクキ窪ハシ

○ 沙磧スナヤ ○ 騾馬ト驢ト交リテ生スルモノナリ其

ナルヲ以テ率 ○ 首領ラカシ ○ 鬭爭アラソフ ○ 饒慶

饒慶正韻ニ饒慶ハ高貌又 ○ 曠漠キヒロ ○ 溪地ヒノ地

○ 腴壤肥ヘタ ○ 眞珠地蛤等ヨリモ産スレハ殊ニ珠母

藥用ニ ○ 錦繡ニシキヤヌイ ○ 衙府唐ハ廣韻ニ府也。

唐書儀衛志ニ唐制天子ノ居ヲ曰フ衛ト云類篇ニ古者
軍行ニ有レ衙尊者所在後人因テ以テ治ル爲レ衙 ○ 火器ノ鐵炮

○ 僻陬イナカ ○ 僻正韻ニ偏僻也 ○ 郭内ノウチ ○ 弊屋

ヤブレタ ○ 瘴癘熱病チヒキ起 ○ 勝景ケシキ ○ 幅

濛アツマル ○ 言ハ車輻ノ漆集シ ○ 混淆ルマシ ○ 文華チ尙ビ

釋名ニ文者會ニ集 ○ 辭令威儀可選也周禮秋官司儀ニ掌ニ九儀

之賓客擯相之禮以詔ニ ○ 鄭重廣韻ニ鄭重ハ ○ 奢侈チナリ

儀容辭令揖讓之節 ○ 抑制壓抑 ○ 慣習ハナラ ○ 購入ニツカ

○ 政教 ○ 販賣販ハ易クカヒ ○ 贈答ヤラヒ ○ 隘キ

○ 群登高クソビヘル ○ 存没云フ義 ○ 蕃衍詩唐風ニ

蕃衍盈外傳二蕃ハ
滋也衍ハ布也 ○隊商^{ダイシヤウ}五十人或ハ百人トク ○魚鹽^{イサシ}

龍ハ龜ノ類俗ニ
スッポント云フ ○郊外^{カウガイ}外野原ヲ云フ ○連綿^{レンメン}綿ハツナ

○遺跡^{イセキ}ノコリシアト ○城郭^{シヨウカク}郭ハ城ノ周圍ニ

○世界ノ七奇^{セカイノシチキ} 巴比倫ノ飛園。埃及ノ尖塔。魯的斯ノ大像。

○モルス^{モルス}王ノ墓。「パロス」ノ燈臺。「ジュヒ

シ 同 ○咖啡^{カヒ}ニ芳香アリテ實ヲ結フ之ヲ咖啡豆ト稱ス之

ニシテ、キセルヲ用 ○土候^{ドコウ}カシラ ○赭黑^{セツク}グロシ ○區

ニシテ、キセルヲ用 ○犀角^{サイカク}ナリ藥種ニ用ウ

○女婿^{メコ}ムコ ○丁子^{テイシ}實ハ生ス ○肉豆蔻^{ニクヂョウ}木ニ生スル大

○香料^{カウリョウ}諸島^{シヨウ}産出スルヲ以テシカ云フ ○純樸^{ジュンポク}スナホ

○肉桂^{ニクキ}樟樹ノ屬ニシテ我國ニ生スルモノト異

ニ用ウ其味苦辛ナリ

○蒸譯^{ジャンヤク}アツメ翻 ○溘焉^{カクエン}トシテ世ヲ辭セリ 説文ニ

忽^{コト}。江淹恨ノ賦ニ朝露溘至

ト云フ ○狗尾貂^{クウビシウ}ヲ續グノ 讖^{ケン}モノヲ續クヲ狗尾貂ヲ

意ナリ

○初帙^{コト}帙ハ説文ニ書衣也、ト

卷之四

十九

續クト。西晉惠帝ノ代趙王倫ナルモノ帝ニ逼テ位ヲ禪ラ

リ朝會毎ニ貂ト云冠ヲ着テ坐スルモノ朝廷ニ充ツ故ニ時

人ノヲ誹リテ貂足ヲス狗尾續クト云ヒシヨリ出ツ其言タ

ル蓋シ小人多クシテ其冠ニ。誤謬疎漏也。博雅ニ謬ハ誤

稱ハサルヲ云ヒシナラソ。也。言ハアヤマリ。胡厥氏韻會ニ胡ハ曲刀

械ノ名ナレ取リテ以。斧正ケツリ。魏峨山廣韻ニ

大ナル。和煦カタ。不羈東縛セラレ。涵養涵

容也ソダ。掩有覆ヒ有ツ也。枕ミ。潮宗書經ヨリ

テ成ス。麻苧一年生ノ植物ニ其子粒ヲ麻仁ト

流レコムチ。麻苧云フ其莖皮ノ纖維ヲ取リ種々ノ織物

ト。章革ナメシガハ。生皮チ。施政宣教ノ權シ宗教

ナシクフ。徵發ダス。事項ガト。駭悍。駭ハ玉篇

悍ハ説文ニ勇也集韻ニ性。軍役イッサ。權史記ノ

急也トアリツロキチ云フ。泥上ソリニシテ前。花剛石卷ノ六、十三葉ノ下ニ出

ニアル。雪車ト同シ。匹儻楚辭注ニ二人爲匹ト。熱開也。喧器也。又猥也。ト

見。韻頰ハリアフ意。詩邶風燕々干飛頰之。恢復

恢ハ説文ニ大ナリ復ハカヘス。絨氈或ハ絨緞トモ云フ

ナリ原ニモトスナリト云フ。蠶注オモムキ。蠶楚辭ニ蛇行也

シモノナリ。蠶掘ツカチ。蕃息蕃ハ繁也息ハ生也多ク

スル貌。蠶掘ツカチ。蕃息蕃ハ繁也息ハ生也多ク

○ 蠶薇ノ香油 製セシ油ナリ ○ 網紀ヲ総攬セシム 紀網

ハ政事ヲ云フ、詩經ノ疏ニ綱網之大繩紀者 ○ 貪 淋 韻ニ貪
別ニ理ニ絲數ニ總ハ説文ニ聚束也。撰説文ニ撮持也

也揚子方言河之北謂貪曰淋。又屈原カ ○ 重歛苛稅歛モ
離騷註王逸曰愛財曰貪愛食曰婪 ○ 重歛苛稅歛モ

年貢 ○ 民ヲ剝スルコト 剝ハ增韻ニ視也、 ○ 內江
ナリ ○ 民ヲ剝スルコト 脫也、廣韻ニ傷害也 ○ 內江

詩天雅ノ傳ニ内江ハ潰也 ○ 緩急ノ非常 ○ 局ヲ了セシ
又箋爭訟相陷人言也 ○ 緩急ノ非常 ○ 局ヲ了セシ

○ 由リ 事ノ終リシコト、揚子方言了ハ
○ 由リ 決也秦曰了、又增韻決也 ○ 沈沒シツム

○ 蕪 集韻ニ一ハ ○ 映射キヲク ○ 高廠廠ハ廣
○ 蕪 集韻ニ一ハ 草木盛貌 ○ 映射キヲク 反射スル也 ○ 高廠廠ハ廣

舍也集韻ニ ○ 附庸 禮記王制附庸
屋無壁也 ○ 附庸 禮記王制附庸 諸侯曰附庸 ○ 嗣起 增韻勃起、
曰嗣起説

文(山) ○ 融解 ○ 山羊 ヤギト云フ形ハ家羊ト異ナル
短高也 ○ 融解 ○ 山羊 ナシ只人ニ訓レスシテ且徙ナリ

其毛ヲ取リテ織物ト ○ 薄地 瘦地ト云 ○ 舊貫 漢書ニ
ナス等家羊ト同シ ○ 薄地 フニ同シ ○ 舊貫 漢書ニ
フルキナラハセ 習慣ハ

如自然註師古曰貫習 ○ 橄欖 我國ノ椿ニ實ノ生セシカ
也爾雅釋詁貫習也 ○ 橄欖 我國ノ椿ニ實ノ生セシカ

ノ木ナリ其果實ヨリ油ヲ製ス ○ 蜜蠟 蜜蜂ノ巢ニ釀成セ
其油ハ食物ノ調理ニ供ス ○ 蜜蠟 蜜蜂ノ巢ニ釀成セ

ヲ以テ之ヲ製ス其白色ナルヲ白蠟ト云ヒ ○ 譏謨 金台歡
黄色ナルヲ黃蠟ト云フ黃蠟ハ蠟燭ニ用ウ ○ 譏謨 金台歡

「ヤニ」ヨリ製シタルモノニシ ○ 洩 洩カラシメン ○ 政下
テ彈力ノツヨキモノナリ ○ 洩 洩カラシメン ○ 政下

○ 困シニ 政事ノ下ニ ○ 誅求 十一年誅求無時註誅責
○ 困シニ 苦ルシム ○ 誅求 十一年誅求無時註誅責

也 ○ 塵 集韻ニ盡死殺スルヲ曰塵又漢 羈 羈ハ馬絆
○ 塵 集韻ニ盡死殺スルヲ曰塵又漢 羈 羈ハ馬絆

ノ首ヲ繫シモノナリ ○ 輓 輓ハ輓端ノ横木ヲ馬ノ領ニ駕スルモ
ノナリ周禮ノ疏ニ輓ハ馬領ヲ厄シテ出ルヲ得サラシム云々言

ハ自由ニ身体ヲ動かス ○ 碩學 鴻儒 碩ハ大也鴻ハ大也。
ノ自由ニ出來サル意ナリ ○ 碩學 鴻儒 碩ハ大也鴻ハ大也。

曰儒又風俗通儒ハ區 ○ 沿革 改マルヲ沿革ハ謂因テ而更改
也言其區別古今 ○ 沿革 改マルヲ沿革ハ謂因テ而更改

○凋殘ニ向ヒ 凋ハシホム ○峰嶸 班固西都賦ニ金石峰嶸

○奮套 字書ニ人ノ籠絡ヲ受ケサルヲ套ヲ落サスト云ヒ、簡畧ニシテ時勢ニ趨ムクモノヲ脱套ト云フ

○糞培 土ヲ起ス、カケ ○無盡藏 ナキヲイフ ○山鹽

煎煮セス自然ニ成出スルモノニシテ ○鋼鏡 ハガチ 盤色甚透明鹹美ナリ食料トスベシ

○銳利 ヨク○キ ○障礙 コダハル ○盟主 カシラ ○赫奕

赫ハ小爾雅ニ顯也 ○干涉 オカシ、アツカル 說文ニ干ハ犯奕ハ正韻ニ大也 ○千涉 也、涉ハ爾雅ニ經也

○隻 船一個ヲ隻ト云ヒ ○城砦 砦ハ正韻ニ山居木柵ヲ

々砦ハ築ト同義ニシ ○博士 洋語博士ト云フ ○獨通

○冠絶 常並ノモノニスグ ○珍卉 奇木鬱然 卉草木ノ

ヲシキ草ヤ、フシギナル ○逍遙 莊子逍遙篇ノ註ニ逍ハ消

ハ猶翺翔ノ如シトア ○鐵鎖 橋ヲ鉄ノ鎖リニテ ○粧

カザ ○拋擲 ナゲウツ ○無花果 我國ニ生スルモノト異

ルキハ綠色ノ皮ニテ實ヲ包ミ其熟スルキハ ○田疇 田畑

堤也 ○収獲 豐穰 トリイレ、ノ、オ ○伶俐 リカツ

○彫像 彫ハ刻也。像チ、 ○優游 佚樂 優ハ豐盛也佚ハ娛也

○披靡 ナビキシ ○治蹟 政事ノ ○駸々 手トシテ 馬

走ルガ如クス、 ○荒涼 アラハテ ○索莫 物ノツキハ

家ノ意、索ハ盡也莫ハ靜也書經ニ ○當時文物典章 當時ハ

國ノ時ヲ指ス。文物ハ ○奕世代々 ○矮屋陋壁 小屋ニシテキ

カハキ ○貧窶 兩雅釋言ニ ○清奇 清淨ニシ ○毛氈

獸毛ヲ種々ノ色ニ染メ ○草帽 麥ハラコテ作リシ帽ナリ伊

織リタル敷キモノナリ ○草帽 太星ノ「レ」イホルン「レ」ニテ

製スル品ヲ ○儻類 高クナ ○堆積 高クナ ○隕墜 隕

落也 墜ハ ○挫挫 挫シ、 ○乾酪 乳汁ノ脂分ヲ去リタ

白質ニシテ滋養トナル ○獨立ノ態 態ハ ○史乘 一歴史ノ

者載也 取リテ載レ事ヲ爲ス名 ○強毅 淳樸 スナホ ○勇敢 不羈

○眷愛 大事大切 ○凌辱 シメツカ ○民兵 政府ヨリ徴

人民ノ特志ヲ以テ ○贅セズ ムダ書キ ○鬱蒼 アチ／＼

一 ○軋ヲス 一引ク ○簇カレル ○一轍ナラズ 一様ナ

轍ハ車輪 ○獨歩 世界萬國ニスグ ○浹洽 普チク行キワ

浹ハ徹也。浴ハ ○一丁字 續世說一丁作ニ一个因篆文ニ个

○寥寥 少ナ ○晨星 晨ハ朝ナリ朝ハ太陽將ニ出ントス

故ニ少ナキヲ ○君臨 君トナリ一國ニ臨ミ ○隆替 隆

盛ナリ替ハ衰ヘ ○憤 憤ナ干戈ニ付スルニ至リ 憤ハ

ナリ干ハ敵ヲ防ク器、戈ハ ○威焰 威光ノ盛 ○祚

踐ニ位ニ ○砂磧 磧ハ、カハラ ○豐饒 ヌタカ○豐ハ多

肥沃 ○賞シヤツク ホメ、モナ ○典テン籍セキ書籍ナリ ○開カイ拓タク土地チ開カ也

如ク智識チシキヲ、 ○淵エン藪ソクムル場所 ○擴クワク張ヤウハルナル ○城シヤウ堡バウ會クワイニ小

城 ○曩ナウ時ジ道ダウニ既キ往ヤウ一イチ或ワキ曰イフ曩ナウ或ワキ曰イフ曩ナウ又マタ釋シヤク詁コ一イチ久ク也

○滑クワ滋ジ美メイ麗レイナ 淑シヨクハ說セツ文ブンニ滑クワ滋ジ也又マタ爾 ○遊ユウ麗レイ正テイ韻インハ

堅ケン固コニシテ美メイ麗レイナル家ケナ云クニフ ○西セイ陲シ西セイノホト

韻インニ邊ベン也増ゾウ ○宏クワウ壯ツウ廣クワウ也壯ツウハ盛セイ大ダイナル貌 ○甘カン藍ラン甘カン諸シュ

甘カン藍ランハ洋ヤウ名メイシユ一イチ和ワ名メイハ「ハボタン」ト云クニフ我國ニノ「カブラ」

其形ケイ蘆ロ ○青セイ魚イ卷ケンノ三サンノ鯨 ○積セキ疊ゾウ駢ペン列レツナラベタテ

○汎フン濫ラン汎フン濫ランヲ壅ウ塞サイセサルコトヲ得トクズ 孟子ニ汎フン濫ラン於ニ中ニ國ニニ

延テン漫マン也汎フン濫ランハ溢イ也 廣クワウ衰サイ衰サイハ香キウシト云クニ字ジニシテ衰サイノ問モン違テイナ

書ニ東トウ西セイ曰イフ廣クワウ南ナン北ペキ曰イフ袤マウトアリ故コニ廣クワウハ横コウニテ袤マウハ縱ジュウナリ

○互ゴ寒カン互ゴハ凍トウト同ドウシ寒カン冷レイノ ○酷クダ ○巡シュン狩コ國クニ王オウノ政テイ

スルヲメニ行コウク ○連レン絡ラクツツク ○窮キウ北ペキ北ペキノ ○造ゾウ船セン廠ヤウ

船センヲ造ゾウクル、 ○馴ジュン鹿ロク小コサ ○身シン軀ク矮ワイ小コカラダガ、ヒシ

イ ○奔ホン馳チハシル ○巉サン岩ガン屹キ峙シ屹キ峙シハ山サンノ屹キ立リツスル貌

○牛ウ酪コ牛ウ乳ニウヲ燻ソウニ入ニレ密ミ閉ペイシテ冷レイ所ニニ放フ置チシ一イチ晝ジツ夜ヤヲ

脂膜ヲ生ス又暫時放置スルハ粘着シテ塊
ヲナス之ヲ牛酪トス滋用ノ益頗ル大ナリ ○鯨鯨クシ

○鯨ハ女ク ○冥霧陰風 大霧暴風ニテ晦 ○勇毅 正義ニ
シラナリ ○冥霧陰風 冥トナルヲ云フ ○勇毅 左傳宣

二年ニ殺スナク爲レ果ト ○トシ 居チ定 ○漲溢 フル、
致シ果爲レ殺ト

○漲ハ大 ○澳入 説文ニ澳ハ隈厓也。水ノ陸ニ ○線縹
水也

極細小ノ絹絲ヲ以テ縹ミタルモノニ恰モ我國ノ紗ノ如
シ婦人ノ顔面ヲ覆ヒ或ハ頭ノ飾リ等ニ用ウ其色ニ黑白ノ

二種 ○噸 二百七十二貫四 ○殆シ ○噴泉 フキダシ
アリ ○噸 百目チ一噸トス

○風致 ナモムキ

卷之五

○「シヤンパン」 佛國實巴尼府ヨリ産ス故ニ此ノ名ア
リ葡萄酒ヨリ製スル酒ナリ下ニアルモ

其地名ニユル ○「ホルガン」 佛國ノ ○「ホルド」
ト心得ベシ

佛國波爾多 ○手套 手袋 ○手迹 書ノ一 ○活潑 穎敏
府ヨリ産ス

ニシテ巧思アリ 物毎ニリコウニシテ、テ ○狂簡 進取
ハヤク且ククニナリ

他ノ轍ヲ踏マザルノ風アリ ○字書ニ狂簡ハ妄行ナリ
○論語ニ吾黨之小子狂簡

○注ニ簡ハ大也書洪範疏狂者進取
仰法ニ古例ニ不顧時俗ニ是進取一概義 ○精濫ヲ講明シ

物ノ深奥ヲ ○剽悍 輕浮 師古曰剽ハ急也輕也 ○花
キハメル ○剽悍 輕浮 浴ニカルハツミト云フ

○鯨ハナモ ○雄畧 大ナル、ハカ ○守成 一旦出來タルト
シセシ

○恐怖ノ世 從來權勢ヲ奮ヒシ王侯貴族ノ反 ○牌
テ人民ヲ恐怖スル世トナリシナリ

○雄威 大ナル ○輓轢 車ノキシル如ク、中ノ
威光

○鞏固 カクク ○徵候 チウカウ シルシ ○掛帆 カク 廣韻ニ帆ハ掛也 綱目集覽ニ敗北

日帆 ○聯絡 レンラク 連絡ト同ツツ ○隧道 スイドウ 地下ノ道 トシテ 云フ ○旌績 テイセキ

標 チ 戰爭或ハ動亂等ノ戡定平治ヲ標スルモノナリ ○崔嵬 サイケハイ

高キ コ ○目チ瞠リ舌チ咋 カ マシムルニ至ル 驚ク形ノ 形容ナリ

絡繹 ラクダク 糸ノツツナガルガ如 ○煤氣燈 バイキトウ ガス燈 ○滿街 マンガイ 町中

○豪奢 ガウシャ 奢ナリ ○釀造 ジヤウゾウ 釀ハサケヲカモスナリ ○英國 イノコク ノ街ニ當

ルナ以テ 街ハ説文ニ通道也ト見ユ漢書ニ ○陘 シヨウ リホト ○熱 ネツ

心 シン 心チコ ○無辜 ムコ 辜ハ罪ナリ罪ノ ○快爽 クアイサウ リトシテ心

トニキ ○蠶 サ 蠶卵紙 サノコ 云フ ○通商 ツウショウ 甲乙ヘ通行シテ商賣チ

○殺戮 シツリク コロス ト ○礮 カウ 砲 正韻ニ一石地 ○幽暗 ウイアン タウスグ

○瀟灑 シヤウサイ 前ノ瀟灑 ト 同 ト 景 ○對峙 タイシ ムヤ ト ○絕壁 ケツペキ

壁ノ如ク突キ立タル ○宛然 ワンゼン 説文宛然 ハ 然 ハ 然々

霧ノ如ク小雨降 リ 説文ニ灑ハ微雨也 ○塞子樹 サイシキ

用ナル木ノ栓 ○狹隘 キヤクアイ 迂曲 ウキョク セマ ガ ル ○植民地 チキミンチ ノ獨立セ

シ ト 獨立 ト 云フ ○蕞爾 クワイニ 小ナル ○潮流 チウリウ 温暖 ウマン 海赤

道 チ 氣 キ 循環 ジュンファン ナル ト ○緊要 キンヤウ カン ト ○巨額 キョウガク 大ナル ト カナリ

○土木 トキ ノ業 造營 ゾウエイ ノ ○強迫 キヤウハク ヤ リ ○政刑 テイケイ 刑罰 ○乖離 クワイライ

乖 ト ハ 玉 ト 爲 ト 一 ト 展 ト ○國基 クニキ 基 ト 云フ ○沈毅 テイキ 沈 ト ハ 深 ト 爲 ト ナ ト サ

田アラスピラキニヤ ○凶歎キハノ文ニ食不滿也 ○澤

チ被フルウクルヒチ ○朽腐キツシナル ○固未裔コトヨリ子孫

○純粹ジュンズイナヒリノ ○羈制キキオツナギケルヲ云フ ○緩急クワンキョク

緩ハ徐ノ意アル字ナレハ緩急クワンキョクハト云フトハ ○星移ホシシツ

急ノ字ヲ重ク見テ一朝事チヤウジアレハト解スベシ ○星移ホシシツ

リ立ツ月ツキ ○荒廢クワンバク夷漸々シヅカ衰微ソウビ赴ツキクテ陵夷レイイト云フ

○文獻ブンケンチ徴スヘキ者無シハ論語ロンゴ文章ブンチャウ獻ケン不足故也疏ソ文

ノ文明ブンメイタルヲ知ルチノ ○遺址イシ跡ナリ ○砂磧サシツ荒涼ノ原野

荒ハ觀文クワンブンノ蕪也又韓詩カンシ外傳ゲイデン四穀シコク不升フシヨウ謂之荒涼ハ

薄也地味ハクヂノ薄キヲ云フ然レハ此ハ只アレハナク

砂原ト見 ○感愴カンソウノ情ニギキ愴ソウハ動也 ○傷也廣韻ニ悽愴也

○漸舉シヅカスルヲ云フ ○榮枯エイコ榮ハ盛ニナルヲ云フ

○獎勵キョウレイハゲマス ○尖銳センエツトガル ○峻センオハリ ○人首ニンシュ獅身

人ノ首カビニテ体ハ ○踰踞ユウキョマツシ ○沙磧シャシツコイシ

德伯斯トクハク埃及エジプト帝王テイオウ駐駕チュウカノ地チコソ今其遺址イシヲ考ルニ實

ニ絶大富盛ケツダイフセイノ都城トウジヤウ ○門非期モンヒキノ遺址イシ「ナイル川」ナイルカハ遺

址アリ埃及エジプト建國ケンコク始祖シソメチニ是ヲ創立ス ○驚駭キョウカイ

オドロクキ ○羊皮紙ヤウヒシ羊ノ皮ニテ製セシ紙ニシテ造レリ

○驢馬ロウバ其形馬ノ如ク又ハ人ヲ乗ス ○醜惡ウシュシシ

○中間人種チュウカンジンシュ甲人種ケウジンシュト乙種エツシュ ○侵掠インリヤクカオカシム ○突兀トツツ兀

高ルツキ ○不羈ノ土藩士人 ○疫癘

熟病スル疾也 ○豚食料トナスヲ得ベシ ○妖魔

アヤシキ ○世襲代々位 ○帶ノ如ク長狭キ ○暗洲

水ノ下ニアル ○激湍ツヨキ水ノ流レヲ云フ

○旱魃ヒテ ○灌漑田地ナドニ水ヲ ○十二月一月

ノ交我日本ト反對ノ地ニ在ルヲ以テ

○羈絆ハ馬ノ首ヲ繫クモノヲ云フ凡ヘテ束縛シテ自由ナラザ

云フナリ ○屑トセズ心ニヨシト ○伶俐ワルガヤ

一字彙コ今ノ方言ニ懸ク ○頑陋イヤシメヒ ○勇悍

勇氣アリテ ○隸セズ附屬 ○氣稟ツクマレ ○天文

臺日月星辰ナ ○怯懦恐レル ○廣袤ヲ相乗スレハ

東西ノ長ト南北ノ長ト相乗スルナリ ○曠漠キハ

○涌泉出ル水 ○澀木枯レル木ヲ云フ ○叢生

生スルナリ ○羚羊ノ屬カモシカト稱ス通常ノ羊

其肉美味ナリ ○遊息イコソビ ○深流小川ノ大河ニ

一既文コ小水ノ大水ニ入 ○壯觀立派ナルヲ ○貧窶

憊弱ハ身ノ弱キヲ云フ ○怯ム哀也 ○臆

算用 ○跋涉山河ヲ奔走スルヲ云フ ○一斑ヲ窺フヲ得

タリ一分ヲ知ル ○獺悍師古曰クハ鹿惡之貌

○岩堯山ノ高貌 ○燬シ ○勝フ堪フ ○波斯棗

其木ハ心赤シ(トゲ)アリ四月頃白色微青ノ花ヲ開

シ其味甘美輕酸ニシテ其實ノ大ナ者ハ鷄卵ノ如シ

○棉花我國ノ如キ草ニアラス ○駿駒善馬ヲ駿ト云

駒ト云フ ○天賦ツウマン ○卒子帳幕ニ起居ト稱ス

故ニ定居ナシ ○厚良ホナ樸也

○巴札義副王ト云フ ○泉地「オ」生スル處ナリ ○倭

忽マナ正韻ノ走疾也 ○晦冥クタク ○乾酒シカハ

○鎮撫ヤシズンズ ○駐在マルト ○牆壁カキカベノ

○眼界ノ極マル所目ノトト ○磁針シシヤシ

○程ヲ發ス道ル ○革蓋カハ ○巢窟アサ ○形象

カタナ ○青布ア輿地誌略ニハ紺布ト譯セリ ○蕤思

カチロ ○巨蟒大蛇即チ ○椰子油椰子ノ實ニリ

○「ガリ」猿ノ類 ○延表延ハ廣韻ニ遠也史記蒙恬傳ニ

ワタルヒ ○矮陋キナヒ ○窓牖マド

○螻蛄蠃イアヤ ○火食セズ食物ヲ煎テ ○溲洩

マガガリ ○舊世界ノ東半球 ○金剛石其形水晶ノ如シ

頭飾或ハ指輪等ニ用フ 其價貴シク婦人ノ

卷之六

○伯仲 一二ノ間 一伯ハ兄弟ノ 陸夷 追々ニ低平ニ

○蕭索 サムシ ○浹洽 ホフ一爾雅ニ浹ハ徹也洽ハ詩

○申稟 シ命ヲ受リ ○沃饒 土地ノ肥チ沃ト云ヒ穀類ノ

○五穀 粟。麥。黍。 ○貨ヲレサルニ殆シ 貨ハ玉篇ニ財也

多フナリ ○大口魚 ○河瑤 正韻ニ河邊ノ地 ○洪河

大ナル ○漾蕩 漾ハ長也蕩ハ韻會ニ大也 ○大理

石如蠟石ノ 炭酸瓦斯ト合シテ成ル ○玉蜀黍 我國ニテ

形ト云フ ○花剛石 イシカケ ○元老院 國會ヲ分ツテ

元老ニセナートニ出ス即上院ナリ州會ノ撰擧チ以テ

諸有司ノ外上等裁判所トナリテ ○立法 法律ヲ制定

○行法 法律施行スルナリ ○紳董院 紳董ハレプレメント

ト云意此院ノ紳ハ紳董ハ正督也置紳以董

撰出レ其在職ハ二ケ年トス此院ハ政ヲ議スル

○九郷 下三十丁ノ異ナルハ ○白山 四時雪チ戴

○明媚 景色ノキヲ吳志ノ註ニ媚ハ愛也 ○亞米

利加ノ瑞士ト稱ス 瑞士ハ山光水色尤モ ○湖山ノ

勝ノ湖水及名山 ○澹蕩 水ノミチク 搖動ノ正韻ニ氷ノ

絨毳毛ニシテ織リタル敷物ナリ ○蕃多蕃ハ繁也

厦屋大ナル家 ○爽垲説文ニ地高燥ノ地 ○道美道ハ玉篇ニ

健也勁也トアヨク ○雄麗大ニシテ ○磁器ツヨクウツクシキヲ云フ

○創祖始祖也 ○紀功碑「ハソケルヒル」ニアリ 英兵ト米民ノ戦ヒ

所ニテ其功ナリ ○和煦ナルカ 説文ニ煦ハ温潤也

○簇立タツラガリ ○松脂ヤマツ ○泥濘ドロ

○朝宗書禹貢ニ江漢朝ニ宗于海ニ注ニ百川以海爲宗也

○地窖アサ ○潞ヘテ ○卓然カカキ ○層巒カサナリ

○透迤正韻ニ一ハ行ク貌 ○成文律成文ハ明文ト

其習慣自ツト法律トナリテ別ニ明文ノ律ナ ○白哲

哲ハ管ノ白キナ云フ ○崎嶇玉篇ニ一ハ山路高低セ

云フ ○閭鄉一郷中ト ○呀嘯米芾王樹カボテン

ハ此乾コナニ 濃褐色ノ無血虫ナリ世ニ洋紅ト名ク

ルニハ十月頃霸王樹ニ麻糸ヲ以テ集テ作リ之ニ唯

虫トナル之ヲ取テ爐火ニ上セテ之ヲ乾干ス爾スレハ

其色變シテ黒色トナリ其体ハ堅硬トナル此ヨリ

紫及緋色ヲ染ナリ ○蕃薯イモ ○青黛青色ノ顔

製スルニハ先ツ其葉ヲ取リ能ク日ニ乾シ而シテニ

三日間水ニ浸シ時々之ヲ攪和シ且石灰ヲ加ヘテ青

アールケイ。マクワイ。共ニ我國ノ蘆ア也。○神仙掌。霸王樹

フ我國ニアルモノト異ナルヲナシ。斯名ノ出ツルハ
蓋其形狀杓子ニ似テ恰モ仙人ノ手ヲ伸ハセシカ如

クナルニ。○鮮紅。アザヤカナル。○染料。○粹。

○燒夷。殘毀ソコナイコボレタル。○社稷。國家ト

稷ハ土地ノ神也。故コソカ云フ。○苛政。惡政。○澳。

苦。○政績。政治ノ。○雷。雷壇ノミナラス

霄ハ天也。マクワイ。地ノ邊位デアハナヒ。○蘇木。洋名ボアズ

和名スハツト云之ヲ染料ニスルニハ先之ヲ割テ細

片トナシ之ヲ熱湯ニ浸セハ赤色并ニ褐色ヲ得

○峻峰。重嶂。廣韻ニ峰嶂ト熟字セリ。又壻韻ニ

「マホガニ。喬木。コノ木理美ナリ之ヲ。○一弧線。弓

如ク曲リ。○垂トシテ。○糖水酒。洋名リユムト云

往古アメリカニ發見ノキ「マンハツァン」○崔嵬。高キ

ノ土人ニ飲マセシハ是酒ナリト云フ。○熇暑。炎暑ヲ云フ

詩ノ齊風ニ高大也。○錯綜。マシリ。○熇暑。炎暑ヲ云フ

○充斥。ナルパイニ。左傳ニ寇盜充斥ハ見也。言其多

○蕪聲。ロクコエ。○滔々。流水ノ限リナクハビコリ

○鮮明。ナルイ。○蛟蛇。ミツチ大ナル「ヘビ」。○文學會

社。文學ヲ擴張スルヲ書籍ヲ著述シ或ハ發明等ノ

ト云フ。○麗。○迴。○寒暄。アタムキト「土地低

○ 噎ハ寒シ高ク ○ 韋草カハメシ韻會皮熟曰韋生曰草呂氏云韋者去毛而未爲草者也

○ 幾那皮ニシ幾那木ノ皮ナリ此木ハアンデス山ノ高處ニ産シテ喬木モアリ或ハ長灌木モアリ

○ 綠ニシ四時共ニ美麗ノ花葉ナリ生ス ○ 井然シ井ノ字ノ其功用タル然病ヲ醫スルモアリ

○ 整フツ ○ 口碑コヒクナツ ○ 瞠若ダシヤク貌驚シ ○ 瀕海ヒナソウミコ云フツ

○ 國教クニノ國人ノ法 ○ 以太里ノ拿破里ナハカ最モ風景ニ富ム地ナリ

○ 珊瑚サンゴ質珊瑚ハ海底ニ生スル小蟲ノ ○ 海門カイモン海港口ニ集ル珊瑚ノ形植物ニ似タリ

○ 激浪キキナツキ ○ 荒蕪クラシ蕪ハクサノ ○ 販賣バンバイ販ハ賣

○ 巖礁イソ水中ノ岩 ○ 波濤ハタウハ波ト云フ字ナリ

○ 金合歡キンカク樹其形我國ノ子ムノキノ類似ス樹液空氣ニ感シテ流出ス其質粘氣強シ

品ノ種々ノ藥 ○ カンガロカンガロ袋鼠トモ言フ腔ハク鹿ノ大

ヲ以テシ其子ヲ容レ後足 ○ 跳走トウソウハドリ ○ 羸弱レイジュク羸ハ

也 ○ 瘦シウヤセテ ○ アレナモアレナモ元素ニシテ其狀恰

○ 音發オンハツカイヤ ○ 田疇テンチュウ田ヤ島ト祀月令ツキノ季夏三

疏穀田スコク曰田 ○ 緒スク ○ 快活クワイカク敏捷ビシチハヤイ ○ 搜索ソウソク文選

麻田マ曰疇 ○ 快活クワイカク敏捷ビシチハヤイ ○ 搜索ソウソク文選

来シテ其景情ケイセイチチグレチ内ウチ地チ往 ○ 星散セイサン所々ニ飛散

云フツ ○ 點綴テンテツ點テンチウチウナナ云フ ○ 獸畜ジュシヨクケダモノ

○ 正誤

| | | | | | | | |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|---|---------|----------|-------------------------|----|
| 同裏 | 表廿五葉 | 裏十七葉 | 表十三葉 | 同裏 | 十葉表 | 八葉裏 | 葉數 |
| 五行目 | 六行目 | 九行目 | 同 | 五行目 | 九行目 | 二行目 | 行數 |
| 滿 <small>カ</small> | 浴 | 唐 | ハ一 バソ | 云 ソ | グホ ミミ | 赤道 | 綴脱 |
| 滿 <small>ソ</small> | 俗 | 衙 | ト一 ハソ | ト云 ソ | グホ ミソ | 冬至線 | 訂正 |
| | 表廿二葉 | 表廿一葉 | 同裏 | 表廿八葉 | 表廿七葉 | 裏廿六葉 | 葉數 |
| | 三行目 | 六行目 | 九行目 | 七行目 | 同 | 五行目 | 行數 |
| | 高低 <small>セ</small> サ | 戴 <small>シ</small> テ | 頤 <small>コ</small> ハ | 弊 | 一圓 | 頤 <small>コ</small> 鏡 | 誤脱 |
| | 高低 <small>セ</small> ル | 以 <small>シ</small> テ | カ <small>ク</small> コ <small>シ</small> イ <small>ヤ</small> シ | 幣 | 一圓 | 頤 <small>コ</small> 鏡 | 訂正 |

明治十三年五月十二日出版版權御願
 同 年六月十三日版權免許
 同 十四年八月二十日發兌

編輯兼出版人

三重縣士族

小林鉦三郎

伊勢國安濃郡津京
 口町三十四番地寓

定價十錢

賣捌人

| | |
|------|--------|
| 伊勢津 | 篠田伊十郎 |
| 同茶屋町 | 阿部多助 |
| 同伊豫町 | 平野嘉七 |
| 同北町 | 澤田佐兵衛 |
| 桑名 | 大塚茂兵衛 |
| 四日市 | 吉田屋善太郎 |
| 伊賀 | 豊住伊兵衛 |

東 京 圖 書 館

四 二 函

新 門

五 架

一 二 部

號

類

特32

新編教育叢書

室五

878

一册号 三架二函

022089-000-8

特32-878

地学教授本字解

小林 鉦三郎 / 編

M14

ADA-0448

